

# ゴビンダ通信

No 33

発行：無実のゴビンダさんを支える会  
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

March 1, 2008

支える会のみなさん、私の無実を信じてくださる全ての  
みなさんによろはまけいむじよの中から心をこめて「<sup>マ</sup>ステレ  
の「<sup>あ</sup>あいさつを送ります。みなさん今年も、よろしくおねがひ  
します。みなさん、今年の冬は<sup>あゆ</sup>ひそ「うレ<sup>さむ</sup> 寒いでした。とこに  
けいむじよの中でク-ラ-な<sup>か</sup>ど「た「いのでたまらないです。  
でもかまんします。

今年はいみなさんからおよそ60、まい年賀<sup>あけがき</sup>ハガキ<sup>あけがき</sup>の中  
から1まいが、4とうの切手シートをあたりましたよ。  
こんなたくさん<sup>あ</sup>の年賀状を送ってくださった皆さんに  
かんしゃします。

1997年3月24日にたいほされてから、もう11年かもう  
すぐたちます。当時<sup>とうじ</sup> 30さいの若さ<sup>わか</sup>だった私は、けいむじよの  
中で41さいになりました。人生の1番いいじきおた<sup>あ</sup>に  
なりました。私は無実です。いつかさいしん無罪になると、  
信<sup>しん</sup>じています。でも、<sup>じかん</sup>ここを<sup>あ</sup>出られるまでまた「また「何年もかか  
りま<sup>あ</sup>そんなながい時間、そんなきびしいかんきょうの中、どやって  
生きていけばいいのが、わかりません。みなさんの面会や手か  
みか「なかつたら、とてもかまんできたいでしょう。

私のため、いつもせいいっぱい<sup>どりやく</sup>努力してくださっている、全ての  
みなさんに心からかんしゃします。どうぞ、助けてください。

これからもよろしくおねがひします。たすけてください。

“無実”ゴビンダ。プラサド。マイナリ。

2008年2月26日 よろはまけいむじよにて。

ゴビンダさんに年賀状を送ってくださったみなさま、どうもありがとうございました。  
単調な生活の中で面会と手紙が何よりの楽しみです。これからも激励をお願いします。

[〒233-8501 横浜市港南区港南4-2-2 ゴビンダ・プラサド・マイナリ]

# ゴビンダさんとの面会記

山田 善二郎（日本国民救援会・会長）

一審の無罪を控訴審で逆転、最高裁で確定させられたゴビンダさんを、2月25日、客野さんと、横浜刑務所に訪ねました。ほぼ2年ぶりであり、刑務所の運営方法が変わったようで、面会の目的について若干の質問を受け、支援団体として運動の状況を説明したり、彼の要望を受けることなど説明のすえ、面会することになった次第。

アクリル板で仕切られた面会室の向こうに元気な姿を見せたゴビンダさんは、開口一番、サイパンでアメリカの捜査当局に逮捕された、いわゆるロス事件の三浦和義さんのことにふれ、「びっくりした」と語っていました。三浦さんは、殺人容疑で逮捕・起訴され高裁で無罪が確定した自分の体験から、ゴビンダさんを支援してきた一人でした。

心配していた奥さんのラダさんの病気について、インドの病院で診察を受け、若干快方に向っているとの客野さんの説明を、食い入るように聞き入っていた姿が印象的でした。

紙袋づくりが日常作業で、一月の収入は6000円とのこと。私たちが何気なく使っている、デパートなどの紙袋には、ゴビンダさんが作ったものもあるかもしれないと思うと、無駄にはしてはいけないという気持ちにかられました。

『冤罪File』（無実のゴビンダさんを支える会がすでに差入れ）を示し、「多くの人びとがこれを読み、冤罪諸事件についての理解を深めていることや、3月9日に予定している銀座でのいっせい街頭宣伝の話しには、顔一面に笑みを浮かべていました。

厳しい刑務所生活の中で懸命に耐えぬこうとしているのでしょう、「何か良いアドバイスをください」と、そこでの生活についてさらなる助言を求めてきました。

私は、彼が無罪となって故郷に帰った暁には、刑事補償金で学校を建てて寄付したいと語ったことを思い出しました。そこで、松川事件のたたかいにふれ、死刑・無期懲役などの極刑を覆して無罪を確定させた松川の元被告団は、獲得した国家賠償で事件現場の近くに「記念塔」を建てたことを話しました。客野さんがゴビンダさんに、ネパールに学校を建てる夢を抱いているのではと、後押しをしました。そして、どんなに困難な事態にあっても、絶望せず希望の夢を胸に、誠実に日々を送りましょう。名張・布川・そしてこの事件と、再審開始・無罪にむけての支援運動は弛まなく持続すると励ましました。

次いで、来る4月に開催する中央委員会に訴えの手紙を送るように伝えました。あっという間に30分の面会事件が経過。看守に督促されて、アクリル板をはさんで握手を交わして面会室を後にしました。

## 2月学習会報告

2月9日(土)「冤罪引野口事件の真相」と題する学習会を行いました。講師の今井恭平氏(ジャーナリスト)が現地取材と公判傍聴を通じて知り得た事件の詳細を報告。片岸みつ子さんのご長男和彦さんも北九州市から駆けつけて、当事者ならではの迫真性に満ちた体験を語ってくださいました。あまりにも横暴かつ稚拙な警察の取調手法と陳腐きわまる検察ストーリーに、70名の参加者は怒ったり呆れたり。

「無罪が当然」、「そもそも起訴すべきではない」、「もし有罪になるようなら、日本の刑事裁判はもうオシマイ!」との声さえ聞かれました。注目の地裁判決は3月5日!

### 「足利事件」菅家利和さん再審請求棄却

宇都宮地裁は、2月13日、菅家利和さんの再審請求を退ける不当決定を行いました。弁護側が新証拠として提出した押田鑑定(菅家さんの毛髪を使ったDNA鑑定)と村井鑑定(被害者の死因は溺死と考えるのが合理的とする法医学鑑定)には新規性はあるが確定判決を覆すほどの明白性はないとし、弁護団が裁判所に求めていたDNA再鑑定を最後まで拒みました。菅家さんと弁護団は即時抗告し再審開始まで闘う決意を表明しています。

### 「北陵クリニック事件」守大助さん上告棄却

最高裁は、2月25日、守大助さんの上告を棄却しました。決定書はたったの10行で、弁護団が上告趣意書及び複数の補充書で指摘した鑑定の明らかな科学的誤り等について何等合理的な理由も示すことなく、「事実誤認を発見することはできない」などとしています。このような非科学的な暗黒裁判で、一人の青年を無期懲役に処すことは許されません。「私は絶対にやっていません!何のために裁判があるのでしょうか」守さんの怒りと苦しみは、全ての冤罪被害者に共通の痛みです。激励先【〒984-0825 仙台市若林区古城2-2-1】

### 三浦和義さんの逮捕は「法の正義」に反する!

「無実のゴビンダさんを支える会」の結成当時からの会員である三浦和義さんが、2月22日、サイパンで逮捕されました。1981年のロス銃撃事件以後、マスコミによる犯人視報道の末、あやふやな状況証拠だけで逮捕・起訴され、一審有罪・二審無罪という経過をへたあげく、2003年に最高裁で無罪が確定しました。しかし、事実上、無期懲役刑に服したと同じくらい長い年月を費やしたのです。三浦さんは、自らの体験を生かして、冤罪被害者の支援や獄中者の処遇改善に尽力してきました。今になってロス市警が20年前の逮捕状を執行したことは、明らかな暴挙であり、人道上、決して許されないことです。

### 季刊『冤罪File』創刊号、絶賛発売中!

司法に正義をもとめる市民の必読誌がついに誕生しました!発売直後から「マスコミが報道しない冤罪事件の実態を正確に伝えている」と高く評価されています。創刊号(2月1日発売・定価380円)には、「東電OL殺人事件」についての詳しい記事が載っています。次号(5月1日発売・定価450円)は、布川事件、北陵クリニック事件など。

**お知らせ** 2008/4/12 無実のゴビンダさん支援集会

再審請求から3年余。東京高裁はただちに再審開始決定を！

日時 2008年4月12日(土) 午後1時半開場 2時～5時  
会場 港勤労福祉会館(第1洋室)

基調講演 / 再審の争点と課題 スライド上映 / ゴビンダさんの家族は今  
特別報告 / 布川事件再審弁護団 ゴビンダさんからのアピール  
各冤罪事件からのアピール 日本国民救援会の取り組み その他

\* 今年の会場は、渋谷ではありませんので、ご注意ください。

\* 詳細は、同封のチラシをご覧ください。

**お知らせ** 街頭宣伝 「リレートーク in 銀座 2008」

主催：名張毒ぶどう酒事件・奥西勝さんを守る東京の会

日時 2008年3月9日(日) 午後1時～5時  
場所 有楽町マリオン前 & ギャラリー・ポヤージュ内  
(JR/地下鉄有楽町駅又は地下鉄日比谷駅・銀座駅徒歩すぐ)

銀座のど真ん中で、全国の冤罪被害者や支援団体による大々的な街頭宣伝を行います。  
マリオン前では、ゲストの江川紹子さん、志布志、名張、布川、大崎、北陵クリニック、東電OLなどの各事件が交代でリレートーク。

室内会場(ギャラリー・ポヤージュ)では、ポスター展示、ビデオ上映会・署名・資料販売等。また15:00から記者会見も予定しています。

**事務局からのお知らせ**

事務局会議：隔月第2火曜日 午後6時～8時 現代人文社：四谷駅下車徒歩8分  
<次回は2008年3月11日(火)>

多くの皆さまから、とくに年末から年始にかけて、多くのカンパや署名が寄せられました。ご支援に心から感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

**無実のゴビンダさんを支える会 事務局**

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付 TEL:080-6550-4669

e-mail: govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>